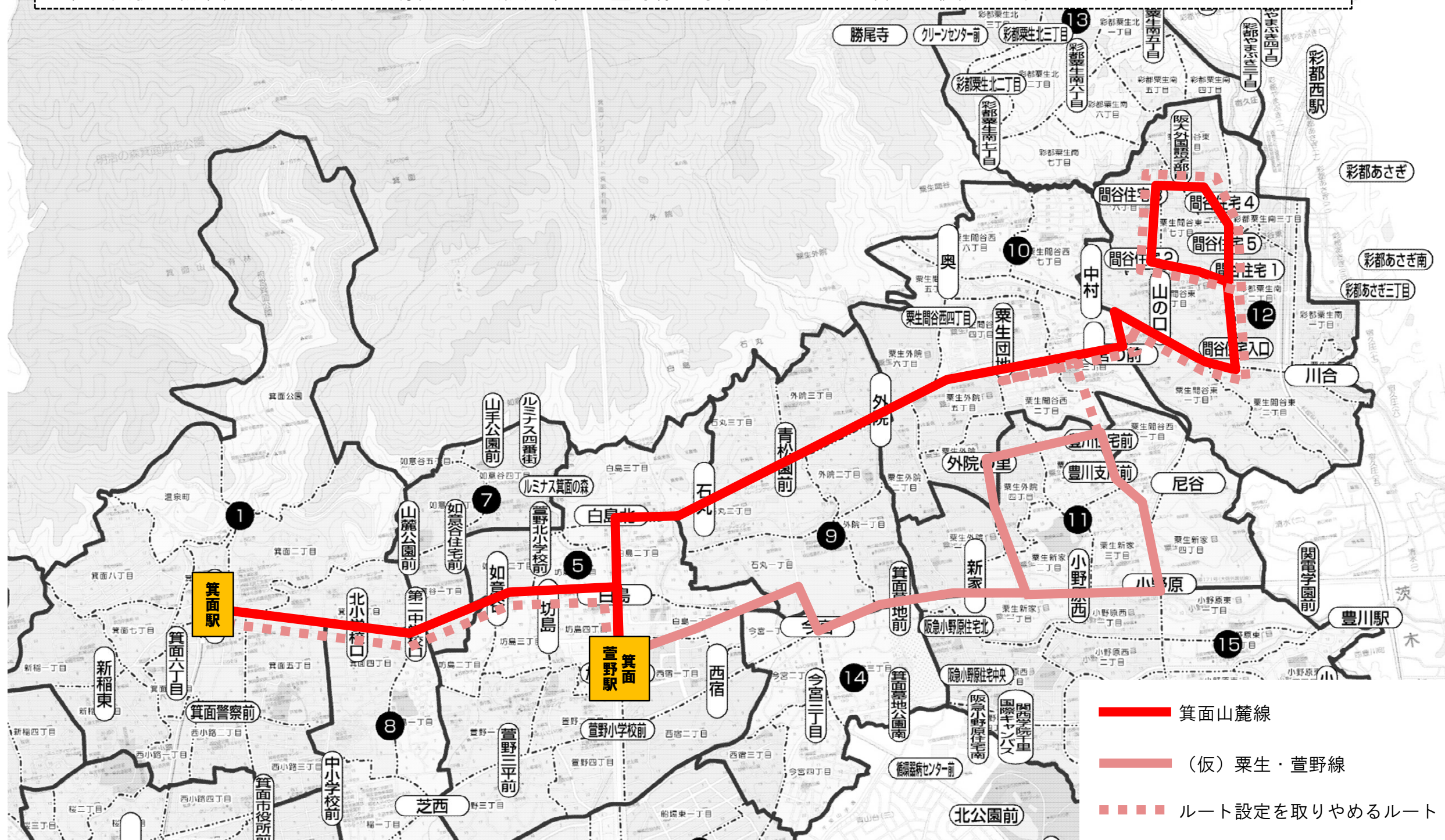


箕面萱野駅経由の箕面山麓線の再設定について (修正ルート案)

【ルート案修正の概要】

- 「間谷住宅～箕面萱野駅」の箕面山麓線のルート案を阪急バスの社会実験路線として再設定する。
- （仮）栗生・萱野線でルートが重複する「栗生団地～間谷住宅」及び「箕面駅～箕面萱野駅」の区間はルート設定を取りやめる。
- （仮）栗生・萱野線は、「箕面萱野駅～外院の里～小野原～箕面萱野駅」の循環路線とする。
- 社会実験の結果、利用者が少ない場合は、（仮）栗生・萱野線の前案に戻すことも含めて検討する。



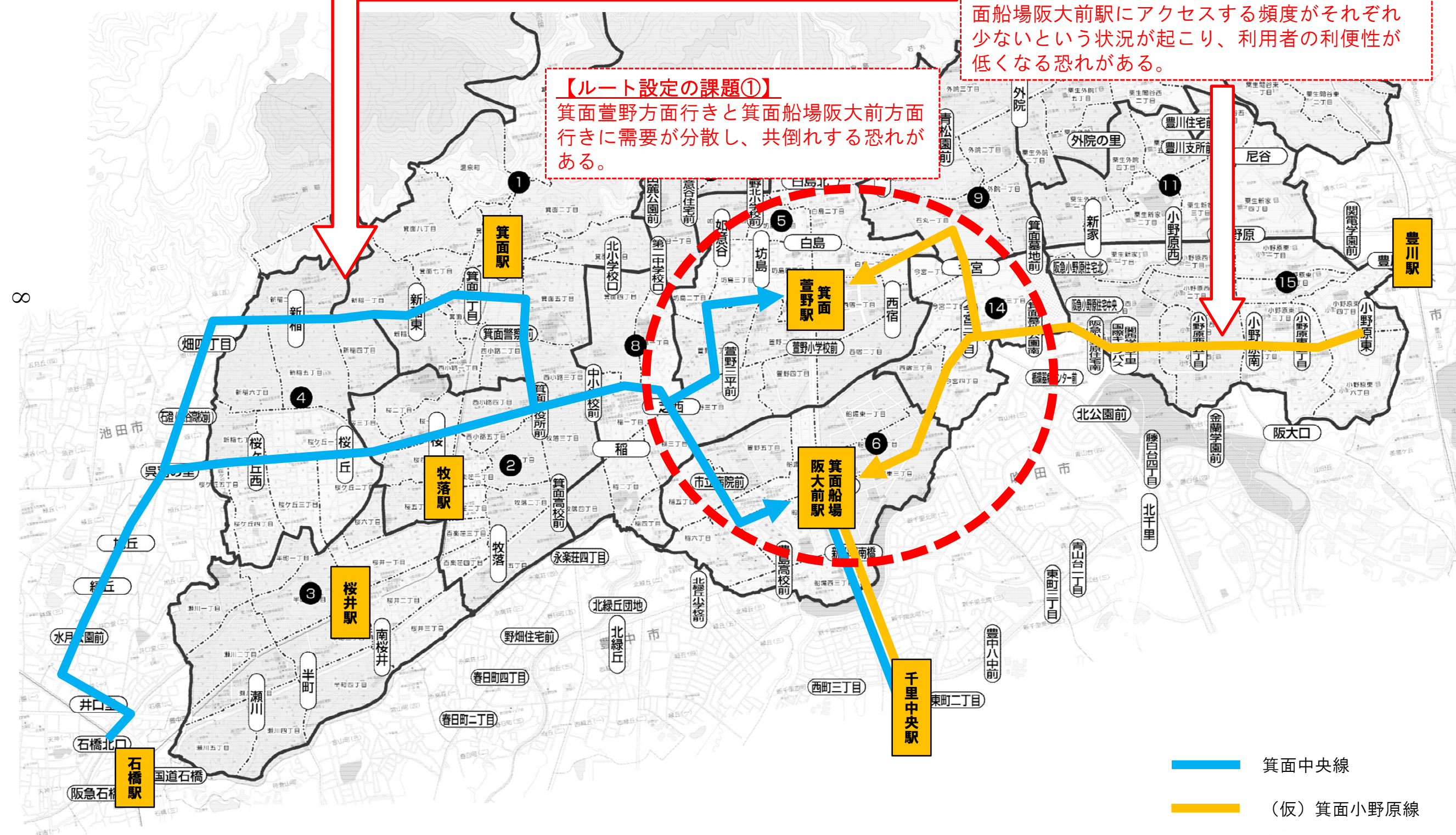
箕面中央線・（仮）箕面小野原線の箕面萱野駅へアクセスするルート設定について 【ルート設定における課題】

【ルート設定の課題①】

箕面萱野方面行きと箕面船場阪大前方面行きに需要が分散し、共倒れする恐れがある。

【ルート設定の課題②】

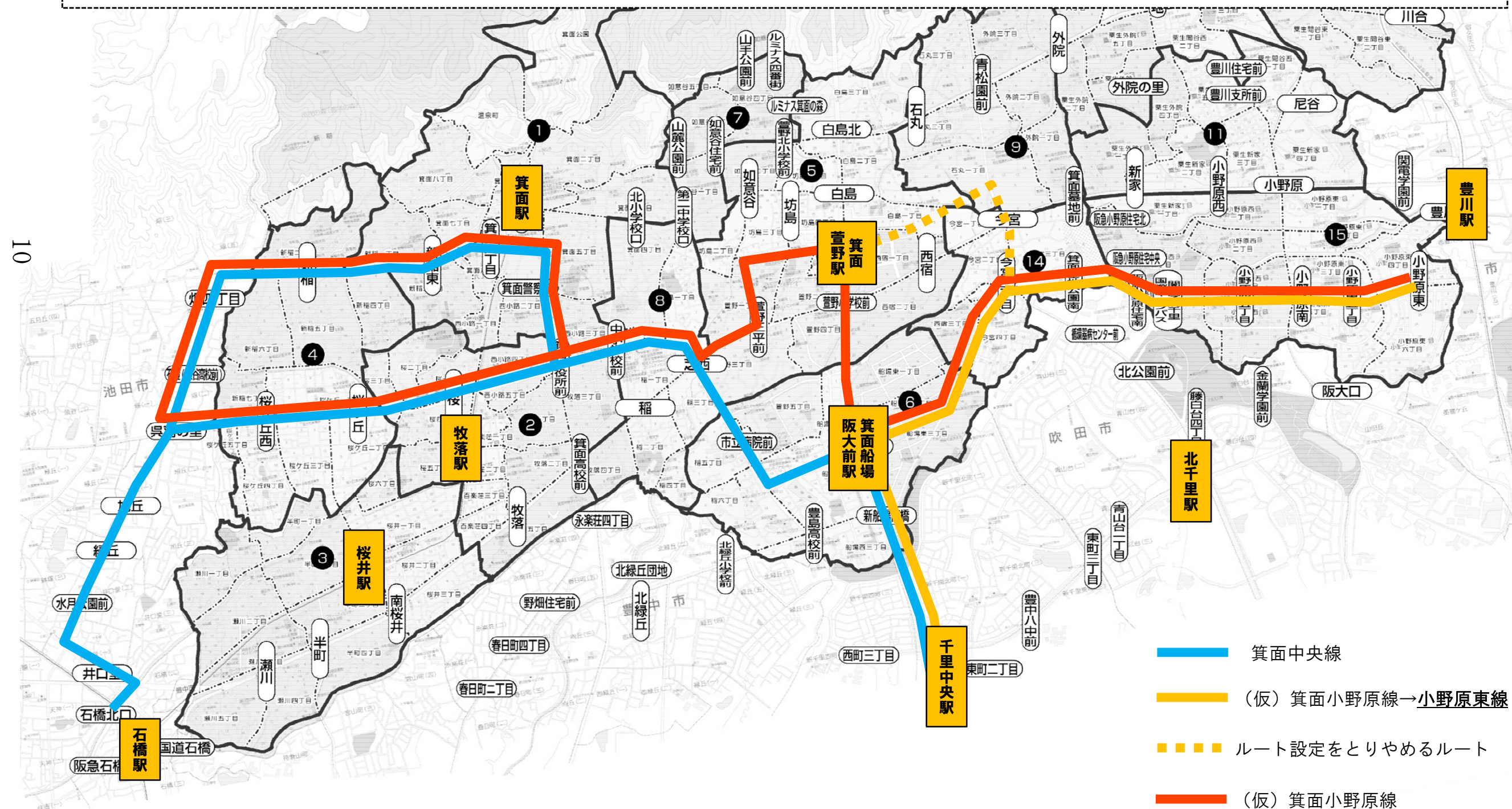
バス自体は多く走っているが、箕面萱野駅・箕面船場阪大前駅にアクセスする頻度がそれぞれ少ないという状況が起こり、利用者の利便性が低くなる恐れがある。



箕面中央線・（仮）箕面小野原線のルート変更について （阪急バス→市へ提案のルート案）

【ルート案修正の概要】

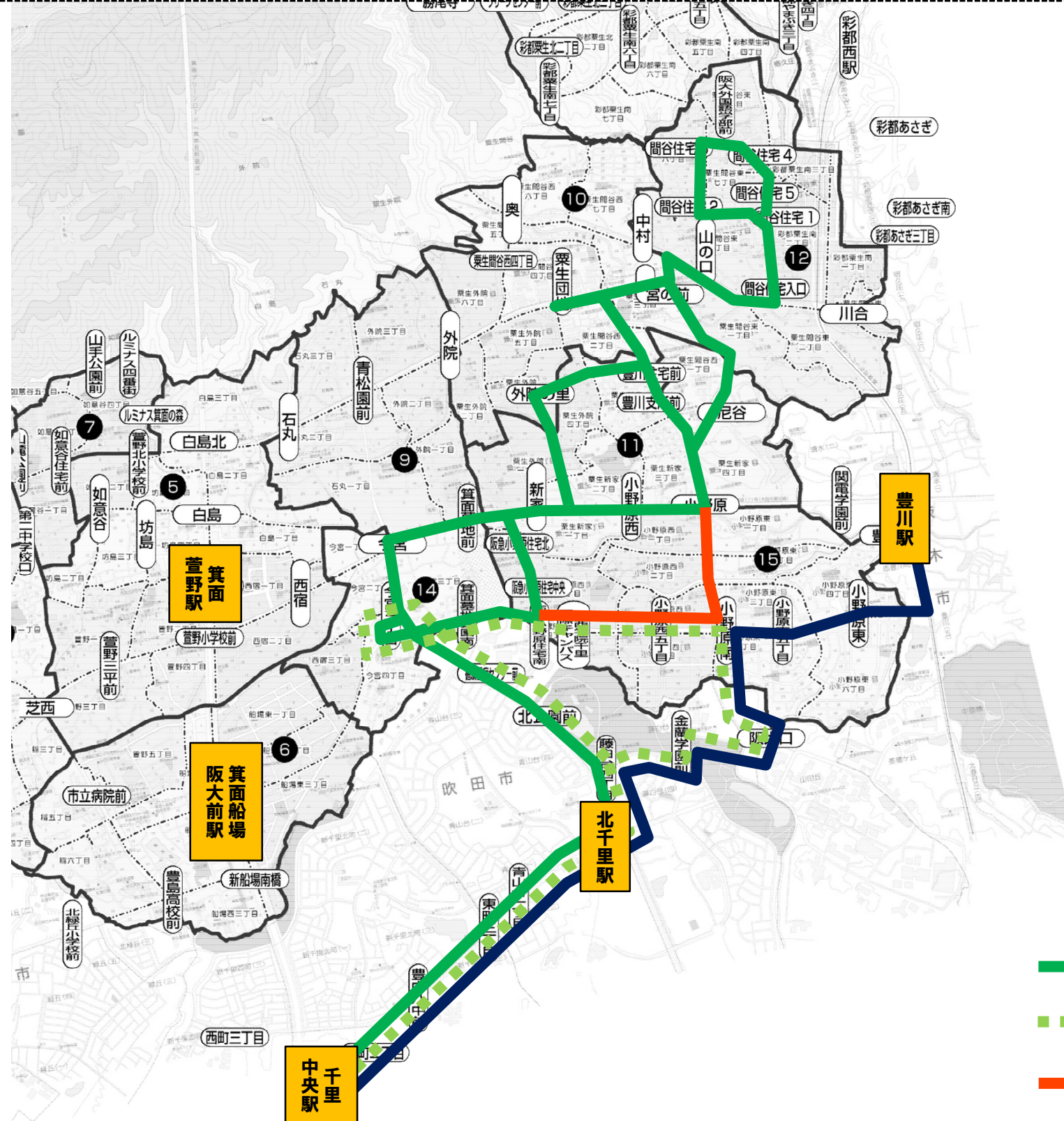
- 市から阪急バスへの提案に対し、路線を別々に循環させるよりも2路線を統合（一体化）した方が車両や人員の運用も効率的になり、かつ、市内の東西移動の利便性向上にもつながるのではないかと回答があった。
- 箕面萱野駅への接続について、箕面中央線と（仮）箕面小野原線で別々に設定するのではなく、両路線を統合した一体的なルートとして設定する。
- 路線名について、今回統合した路線を「（仮）箕面小野原線」とし、小野原東～船場～千里中央の路線は「小野原東線」の1系統とする。
- ※運行頻度の検討段階における車両や人員の運用の調整により、一部ルートの修正が必要な可能性がある。



粟生団地線のルート変更について (阪急バスからのルート案の修正提案)

【ルート案修正の概要】

○関西学院千里国際キャンパスの循環路線は、粟生団地線の一部ルート変更や他路線で代替して運行する。



- 粟生団地線
- 粟生団地線の廃止系統
- 粟生団地線の追加運行ルート
- 小野原東線